

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	社会福祉協議会補助金
------	------------

担当課	福祉部 社会福祉課	実施主体	成田市社会福祉協議会
科目・事業コード	会計 款 項 目 事業 一般 03 01 01 30 - 01	R06 予算額	89,438 千円
新規・継続の別	継続	R05 予算額	83,983 千円
補助・単独の別	市単	R04 決算額	80,577 千円
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	79,563 千円
交付開始年度	昭和 43 年度	終了予定年度	令和 8 年度

事業の目的概要	<p>誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、地域住民やボランティア、保健福祉関係者や行政と協働し、地域福祉活動を実施するものである。</p> <p>また、本市の福祉政策に沿った事業内容を展開し、これらの事業に係る補完的な役割や、制度外の福祉サービスを含め、行政施策の及ばない部分について、地域と密接に連携した活動を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的とする。</p> <p>市として、当該団体に補助金を交付し、各種事業を実施することにより、地域福祉の向上を図るとともに、福祉のまちづくりを推進する。</p>	補助対象事業	<p>①法人運営事業 (人件費11人分・全額補助)</p> <p>②地域コミュニティづくり推進支援事業</p> <p>③ボランティアセンター事業</p> <p>④慰霊塔護持会事業</p> <p>⑤心配ごと相談所事業</p> <p>※令和5年度現在 地区社協：16地区</p>																					
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> 成田市補助金等交付規則 成田市社会福祉法人の助成に関する条例 社会福祉法人成田市社会福祉協議会補助金交付要綱 	補助基準等																						
留意事項		補助	<p>①法人運営事業 (R4人件費11人分・全額補助75,640千円)</p> <p>②地域コミュニティづくり推進支援事業 地区社協活動費バス委託(実施見込額より負担金控除3,354千円)</p> <p>③ボランティアセンター事業 (補助基本額1,500千円)</p> <p>④慰霊塔護持会事業 (補助基本額60千円)</p> <p>⑤心配ごと相談所事業 (補助基本額23千円)</p>																					
決算内訳	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額 (単位：千円)</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>290,136</td> <td>279,012</td> <td>11,124</td> </tr> <tr> <td>収入額の内 自主財源</td> <td>市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>209,559</td> <td>80,577</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主財源比率</td> <td>繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>72.2%</td> <td>13.8%</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額 (単位：千円)			収入額	支出額	翌年度繰越金	290,136	279,012	11,124	収入額の内 自主財源	市補助金額		209,559	80,577		自主財源比率	繰越金/補助金		72.2%	13.8%		率・額	
令和 4 年度決算額 (単位：千円)																								
収入額	支出額	翌年度繰越金																						
290,136	279,012	11,124																						
収入額の内 自主財源	市補助金額																							
209,559	80,577																							
自主財源比率	繰越金/補助金																							
72.2%	13.8%																							

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	本市の福祉政策と課題を共有し、各種事業に取り組んでおり、成田市総合計画の基本方向である「健康で笑顔あふれ、共に支え合う社会をつくる（保健・医療・福祉）」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	ア、地域での住民自治や社会福祉に著しい貢献が期待できる活動に該当
	市民協働を推進する目的があるか	はい	地区社会福祉協議会の統括的役割を担い、地域住民との協働を推進している。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	社会福祉法に定められた団体で、市の福祉施策に沿い全市的に活動できる団体は他にない。
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	高齢化等により地域の重要度が増しており、社会的ニーズに適合したものだといえる。
	市が関与する必要性があるか	はい	市の福祉施策の補完的役割と、行政施策の及ばないきめ細やかな地域福祉活動を担う。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	地域福祉活動の充実が図れず、活動の停滞を招くことになる。
	類似の事業はないか	はい	特になし。
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	令和6年度から令和8年度についても、市の福祉施策の補完的な事業の実施が計画されており、合致する。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	実施事業は収益性に乏しく、継続的な補助が必要である。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	事業計画書に沿った業務・会計処理が行われ、会計監査も適正である。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	令和4年度決算：補助額80,577千円 繰越額11,124千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	社会福祉法人成田市社会福祉協議会補助金交付要綱により、補助対象経費を定めている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	ボランティアセンターにおけるボランティア登録者数 (R2：1,650人、R3：2,095人、R4：1,354人)
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	行政の補完的な役割を担い、事業を実施している。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	事業の大部分について、無償の福祉施策を基本とする点で収益性に乏しく、補助を要する。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。
最終評価	維持継続		
評価者 所見	社会福祉法人成田市社会福祉協議会は地域福祉の推進にあたり必要不可欠な団体であり、今後も継続して補助金を交付する。なお、同法人の行う事業は、収益性の乏しいものであり、法人運営（主に人件費）にあたっては公的補助を継続する必要性がある一方で、引き続き経費削減・自主財源の確保について努力するよう同法人への指導を継続する。		